

安瀨聖司氏に聞く

健康経営で地域貢献

月に企業の経営者向けに健康経営のセミナーを開き、理解を促めた」

「健康経営の考え方の導入を通して経営者や社員、社員の家族に健康に近づいていただく取り組みを進めたい。持続可能な会社や事業を確立させ、地域経済の活力につなげるのが使命だと考える」

「被災各県への寄付をはじめ、支援活動を継続している。復興は進んでいるが、道半ばであり、今後もしっかり支援していく。妻が会津若松市出身で、長年、よく県内を訪れている。自然や食、観光資源が豊富で、来年の東京五輪の試合会場にもなっており、多くの人が来県してくれることを期待している」

「健康経営を進める思いを伺う。」

「セミナーを数多く開催しているほか、個別企業にも意義や導入手法を説明している。健康に問題がある場合、個人の状態に応じた、さまざまな改善プログラムを用意している。営業社員の多くは健康経営アドバイザーの認定を受け、お金をかけずにできる健康法の紹介もしている」

「被災各県への寄付をはじめ、支援活動を継続している。復興は進んでいるが、道半ばであり、今後もしっかり支援していく。妻が会津若松市出身で、長年、よく県内を訪れている。自然や食、観光資源が豊富で、来年の東京五輪の試合会場にもなっており、多くの人が来県してくれることを期待している」



兵衛 経 政 大 田 稲 早 出身。早稲田大学経済学部卒。三菱商事勤務を経て、GEキャピタル・ジャパン社長兼CEO、ピザ・ワールド社長などを歴任した。今年4月から現職。63歳。

「協定に基づき、県などで行う健康長寿ふくしま会議の健康経営推進部会に入れてもらい、県内で企業・団体とのネットワークをつくって活動している。同会議では七月に企業の経営者向けに健康経営のセミナーを開き、理解を促めた」

「被災各県への寄付をはじめ、支援活動を継続している。復興は進んでいるが、道半ばであり、今後もしっかり支援していく。妻が会津若松市出身で、長年、よく県内を訪れている。自然や食、観光資源が豊富で、来年の東京五輪の試合会場にもなっており、多くの人が来県してくれることを期待している」

安瀨氏は福島市で三日開かれた東北・北海道商工会議所連絡会議に参加するために来県した。